

研究名：

精巣固定術におけるダルトス筋膜貫通部縫縮の再挙上防止効果についての検討

1. 研究の目的

停留精巣に対する精巣固定術での術後の精巣再挙上率は0.2～13%と報告されており、手術方法の影響も指摘されています。本邦の停留精巣診療ガイドラインでは、精巣を固定する際に精巣の血管や精管の通り道を縫い縮める事で再発予防を行う方法が推奨されています。本研究では、当院で行った精巣固定術の診療録を後方視的に調査し、手術方法により詳細に分類し比較することで、手術後の精巣再挙上の少ない手術方法を明らかにします。

2. 研究の方法

対象：1982年から2018年間に群馬県立小児医療センター小児外科で精巣固定術を実施した方

方法：過去の診療記録をもとに調査を行います

3. 情報の公表

研究結果は日本小児泌尿器外科学会にて発表される予定です。その後、日本小児泌尿器外科学会雑誌という学術雑誌に投稿し、論文として公開される予定です。

患者様の個人情報が公表されることはありません。

4. 研究実施機関およびお問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

群馬県立小児医療センター 小児外科 高澤慎也

住所：〒377-8577 群馬県渋川市北橘町下箱田 779 番地

電話：0279-52-3551